

2025 年度5年目看護師対象 「入退院支援研修」報告書

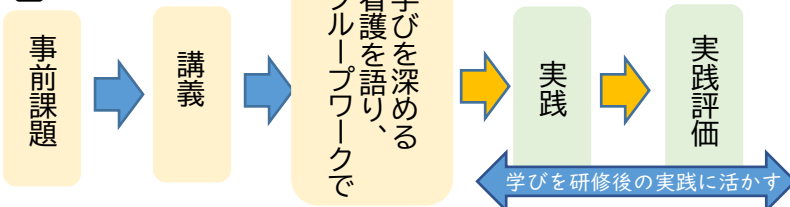


地域包括ケアシステムにおける当院の看護師としての役割を認識し、
『その人らしい退院後の生活を見据えた看護実践能力』を習得するために
講義とグループワークを行いました！

目標

- 1.入退院支援に関する社会情勢を理解し、自施設の入退院支援における看護師の役割について述べることができる。
- 2.自分が実践した看護を振り返り、グループワークで語り合うことができる。
- 3.他者と実践を共有することで、新しい知見に気づくことができる。
- 4.明日から実践できる看護について考えることができる。
- 5.その人らしい退院後の生活を見据えた看護が実践できる。

✓ 研修の流れ



今、看護師の皆さんが行っているすべての業務が
『入退院支援(看護)』
に繋がっていきます！



講師 地域医療連携センター
在宅看護 CNS 川本裕美看護師
馬場妙子看護師
在宅看護院内認定看護師
木村由紀看護師長

退院支援にむけて行った看護を語ろう



「治療」も大事だけど、退院後に ADL が下がらないような看護を行った。

患者と家族の意向をすり合わせるために、別々に話を聞いた。



入院前に外来看護師から情報提供してもらい、転倒を予防できた。



業務も大事だが、看護へ転換して関わって行くことが大事だと思った。

退院支援＝介護保険ではない と考え方が変わった。



皆が「すごい」といってくれて、自分が行っている看護は間違っていないと自信が持てた！

「患者さん家族が大事にしていることは何か」を考え、安心してその人らしい生活に戻れるような支援を行ってほしいと思います。
研修での学びを活かして、入退院支援の実践に活かして下さい。

